



津久見市

環境保全課

津久見市では、平成26年度に第3期津久見市地球温暖化対策実行計画をつくりました。計画は、津久見市の行政施設に対して、平成26年度から平成30年度までの5年間にCO2の排出量を平成25年度にくらべて5%減らそうとする計画です。平成27年度の実績は、9.6%の削減です。7月18日(月)には、早朝からつくみん公園で、みなと祭り花火大会後の清掃活動を、つくみ環境美化グループ、小学生・中学生・一般ボランティアの多数の方々の参加でしていただきました。

10月18日(火)に岡町公民館で、地球温暖化防止津久見協議会主催の講演会が行われ、温暖化防止・合併処理浄化槽設置・ダンボールコンポスト等のことを地区住民の方に説明しました。

10月22日(土)・23日(日)ふるさと振興祭では、つくみ環境美化グループ女性部の方々が作成したリサイクル製品等は、かなり盛況だったそうです。また、環境保全課でも出店し、「合併処理浄化槽設置促進」のコーナーを設け、合併処理浄化槽の模型を展示し、促進キャンペーンを行いました。

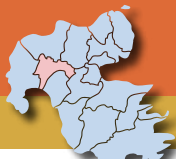
平成27年度も、家庭で簡単に取り組める「ダンボール生ゴミコンポスト」を広めるために、市民に対し購入助成制度を実施しております。



ふるさと振興祭



環境講演会



玖珠町

環境防災課

使用済の食用油を活用した取り組み

- 食用廃油再生燃料化(BDF)の取り組み
家庭等から回収した廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製し、ゴミ収集車の燃料として活用しています。

- 石けん作り
玖珠町で活動する環境ボランティア団体『メルヘンしゃぼん工房』は、筑後川の上流にあたる玖珠川をはじめ、河川の水質保全を目指し、家庭から出る使用済みの食用油を活用して洗濯石けんを作っています。「子どもたちが安心して遊べる川へ」を合言葉に、石けん制作活動を始めて今年で26年目を迎えます。



- 食廃油キャンドル作り
環境保全活動に取り組んでいる『玖珠町ECOライフ推進協議会』では、

7月の「七夕の日」と12月の「冬至の日」にキャンドルナイトキャンペーンを実施し、食廃油を使用したキャンドルを作成して役場庁舎と4地区の公民館で配布し、節電・省エネの啓発活動を行っています。

リサイクルの活動

ペットボトルキャップ及び小型家電の回収の取り組みをしています。回収したキャップはイオン九州が取り組んでいる「ポリオワクチン支援」の活動に役立てています。



生ごみ処理機補助事業

家庭から排出されるごみの減量化とリサイクルを推進するため、生ごみを肥料にする「コンポスト」や「電気型生ごみ処理機」の購入費の一部を補助する事業を行っています。

役場庁舎における節電の取り組み

地球温暖化対策の取り組みで、下記のような取り組みをしています。

- 空調 ▶ 温度管理、運転時間の短縮、ブラインドの活用
- 照明 ▶ トイレ、会議室での消灯、昼休みの消灯
- 電気機器 ▶ エコモード等の省電力設定、待機電力の削減
- その他 ▶ グリーンカーテンの設置

※その他の公共施設では、業務に支障のない範囲で節電対策に取り組んでいます。

